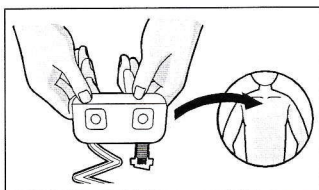
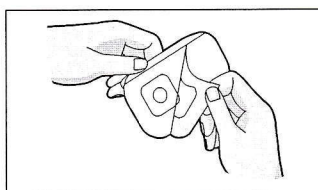


カルディロードP (防水)の装着方法

- ① 電極貼り付け位置をアルコールで拭くなど皮膚処理を施します。

- ② 電極接続端子のでている電極の剥離紙を剥がし、共通電極 (□部) を胸骨上端部の骨上に貼り付けます。

※電極貼り付け時には、患者さまに深呼吸をするときのように「胸を大きく膨らませた状態」を取っていただき、電極が浮きあがらないようしっかり貼り付けてください。



※電極の貼り付け時には、粘着面には触れないよう注意してください。剥がれの原因になります。

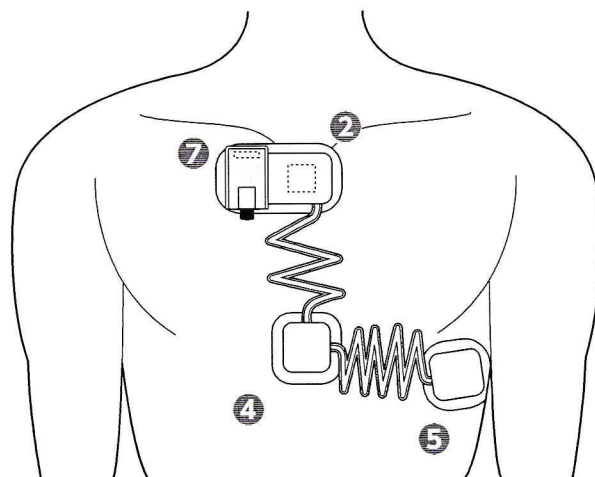
- ③ 患者さまの体型に合わせ、蛇腹部分のミシン目を切りはなし、電極間の長さを調整します。

- ④ 蛇腹が2本出ている四角い電極の剥離紙を剥がし、胸骨下端部の骨上に貼り付けます。

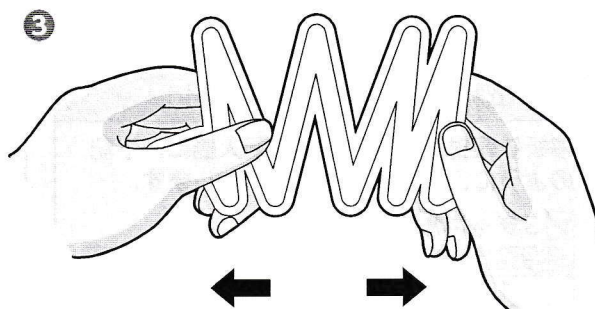
- ⑤ 蛇腹が1本出ている四角い電極の剥離紙を剥がし、V5に近い肋骨上に貼り付けます。

- ⑥ Cardy 303 pico+とカルディロードP (防水)を接続します。
(1)カルディロードP (防水)の「電極端子」とCardy 303 pico+本体の「電極接合部」を合わせます。
(2)Cardy 303 pico+のスライダーを閉じます。

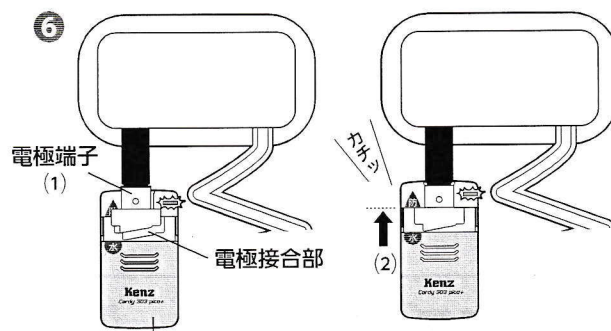
- ⑦ Cardy 303 pico+を固定します。
※詳細な固定方法は裏面を参照してください。



電極装着完成図

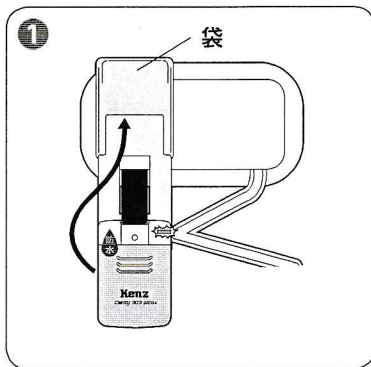


※患者さまの体型に合わせ、蛇腹部分のミシン目を切りはなしします。

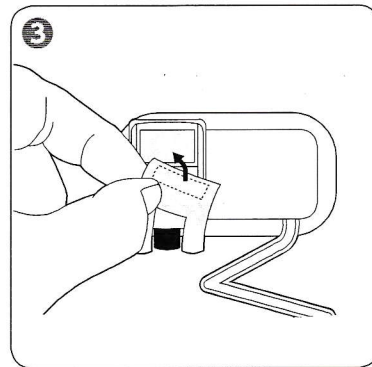


Cardy 303 pico+のスライダー

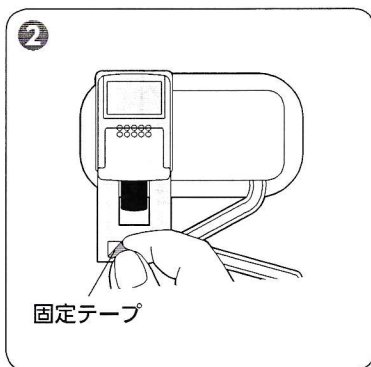
■ Cardy 303 pico+の固定方法



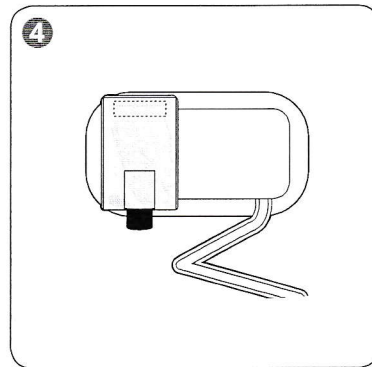
① 本体を電極側に折り返し、袋に差し込みます。



③ 固定テープを折り曲げ、本体が縦方向にずれないように包み固定します。



② 固定テープの剥離紙を剥がします。



④ 固定されていることを確認してください。

解析センターサービスをご利用のお得意さまへ
**Cardy 303 pico+で記録したデータを
依頼いただくときのお願い**

●解析依頼封筒裏面の誘導法記入欄に、下記のように、ご記入をお願いいたします。

☑ 3チャンネル誘導

チャンネル	誘導名	誘導名
1ch	CM ₅	
2ch	CC ₅	NASA
3ch	NASA	補助誘導

⚠ 警告

●電極を装着した状態で、MRI・除細動器の使用はできません。被検者が火傷を負うことがあります。

⚠ 注意

- 本品は、再使用はできません。
- 本品はCardy 303 pico+用です。他の機器には接続しないでください。
- 電極は、健常な皮膚に貼り付けてください。
- 使用中、皮膚に発赤、腫れなどの症状が現れた時は、使用を中止してください。
- 入浴・シャワー時は、次の点にご注意ください。
 - ・入浴・シャワー対応した超小型防水ホルター心電計Cardy 303 pico+をご使用ください。入浴・シャワー対応しているかは、本体正面の“防水マーク”で確認できます。
 - ・プール、サウナ、ジャグジーバスや温泉での使用、入浴剤、石鹸、シャンプーの使用はしないでください。
 - ・電極部を手やタオルでこすったりしないでください。
 - ・Cardy memolは簡易防水構造を施していますが、完全防水ではありません。浴室に持ち込んだり、水につけたりしないでください。

届出番号 23B2X00049000018

株式会社 **スズケン**

お問合せ先

ケンツ事業部

名古屋市東区東片端町8番地 〒461-8701
TEL (052) 950-6325 FAX (052) 962-7440
ホームページ <http://www.suzuken.co.jp>
E-mail: kenz@suzuken.co.jp